



2014-2015年度 R.I. テーマ



「山芍薬」写真提供：長田 達明 会員



- ◆ 会長 牧野 健吉 ◆ 幹事 佐々木祐司
- ◆ 発行 会報委員会 4月担当 加納

第2305回例会 4月7日(火)

- ◆ 点鐘 牧野 健吉 会長
- ◆ 司会 佐々木祐司 幹事
- ◆ 国歌斉唱
- ◆ ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ◆ 四つのテストの唱和 職業奉仕委員会
- ◆ ゲスト
交換留学生 オリビア・スミス 様
- ◆ 入会式



(株)吉野自動車
代表取締役
吉野 洋美 さん

この度、魚津西ロータリークラブに入会させて頂くことになりました、吉野自動車の吉野洋美と申します。

魚津市大光寺にて亡き夫の後を継ぎ、自動車整備工場を営んでおります。

日頃からお世話になっております、三浦様、佐々木様よりご推薦頂き入会させて頂く運びとなりました。

私は、経営者としてもまだ知識も経験も浅いため、正直ロータリークラブで務まるかどうか不安でいっぱい

ありますが、ロータリー活動を通じて、人間として成長していけますよう勉強させて頂きたいと思っております。

皆様には、何かとご迷惑をおかけするかと存じますが、今後ともご指導くださいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

◆ 会長挨拶

皆さんこんにちは。

私の見るテレビ番組は、ニュース関係とスポーツ番組ぐらいですが、最近のニュースは暗いものが多く2・3回見たりするとチャンネルを変えるようになりました。

しかし、反対にスポーツニュースは明るいものが大変多く、テニスやフィギュアスケート、スキージャンプ、複合、卓球、そして日本でも参考記録ではありますが、100m走で9秒台を出した桐生選手。そして高校野球では北陸勢として初優勝した敦賀気比高校の話題等、私たちに勇気と感動を与えてくれます。これからも、ゴルフや水泳、7人制ラグビー、プロ野球など2020年の東京オリンピック・パラリンピックまで話題に事欠かないと思います。

最後に富山県はたいしたもんだと思いました。何かという政令指定都市以外でプロ球団を3チーム(野球サンダーバード・バスケットグラウジーズ・サッカーカタレ)を持っているところは他にはないそうです。

私たちも、もっと地元のチームを応援していかなければと思いました。

創立1968年(昭和43年) 5月27日〔第2610地区内創立順位19〕

例会：火曜日 12:30 於. いかわ信用金庫本店5 F TEL(0765)24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL(0765)22-0715

◆ 出席報告 (鈴木委員)

- ・ 出席率 会員31名中(出席免除者2名) 25名 86.20%
- ・ 欠席者 原君、石崎君、窪田さん、横谷君の諸君
- ・ 前々回 (2303回) の修正
メーク・アップ なし

◆ 幹事報告

- 米山梅吉記念館より
- ・ 館報

☆ 4 月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
4 / 14(火)	卓話担当：関君 Rの友・情報紹介	信金 5 階
4 / 21(火)	夜間例会	喜 楽
4 / 28(火)	卓話担当：宮田さん	信金 5 階

★ 4 月の S A A 補助

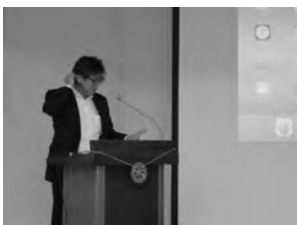
島山君・南君の諸君です。よろしくお願ひします。

◆ ニコニコボックス

- ・ 魚津 R C 中川氏：会葬のお礼

今週までの合計額 498,000円

◆ 卓 話 「インターネットと言う宇宙…
実践編」



三 浦 茂 君

前回の卓話で、インターネットの概要やタブレットについてお話ししました。

今回は、私自身何を調べたり、どう活用しているのかをお話したいと思います。

私の趣味のひとつにオーディオがあります。

ももとは、音楽が好きでした。リスナーとしてよりも、プレイヤーとして音楽に興味を持っていましたが、今の仕事をするにあたり、人と時間を共有することが非常に困難なことから、一人でできるリスナーにウエイトを置くようになり、オーディオに興味を移行していきました。

やはりコンサートやライブは、熱気が有り楽しいのですが時間が合わなくて、捨てたチケットは数知れず、ゴミ箱行きでした。

仕方なくFMのエアチェック、レコードを買い、レコードからCDに買い替え、レーザーディスクなどいろいろと試してみました。

ホールを立ててからは、ほぼ休止状態です。

ここでも、時間の問題が出てきました。仕事の拘束時間が増えて、年もとって集中力が下がり、気持ちの切り

替えに時間がかかるので趣味に没頭できなくなりました。

ただ、インターネット上の情報の充実と円高により、レコードの購入、ビンテージ機材の発掘ができるようになり、長期的にオーディオ、音楽に取り組む準備ができるようになってきました。

いろんな機材の中で、音の入り口であるプレイヤーについて、話したいと思います。

レコードプレイヤー、最近ではターンテーブルといわれているプレイヤーは3台持っています。

まずは、THORENS TD521RW にトーンアームSME3012Rの組み合わせ、カートリッジは ORTOFON SPU CLASSICです。

JAZZヴォーカルやクラシックを聴くのに使っていました。ゆったりと朗々とした音楽に使用していました。

2台目は、LINN LP12にトーンアームSME3010Rの組み合わせで、小編成でスピード感がある音楽を聴いています。

3台目は、GARRARD401ですが、現在オーバーホールとキャビネット乗せ換え、トーンアームの交換をするため、パーツや資料を集めている最中です。

1970年前後のものなので、あちこちガタがきていて本来の音が出ていないように思います。新品の音を聞いたことないので過去の評価やネット上のレポートからの推測になります。本が色々出ていた時代は、本より情報を得ていましたが、ネットの発展とリンクするように出版物の衰退が始まり、詳しい情報を得るにはネットが欠かせなくなりました。

大きな洋書、古本屋があるような都会では、情報を欠くことがなくても田舎暮らしでほとんど県外に出かけることのできない私にとっては、自分と世界が一瞬につながるインターネットは、大変貴重な情報源です。

これから、一部ですがサービスマニュアルなど集めた情報の一部をお見せしたいと思います。このALTECの資料は、代理店が販促用に作成したものだと思いますが、オークションなどでは、高額で取引されています。

代理店などの倉庫に眠っていたものが、放出されたのではないかと思います。

皆さんのところで、埃をかぶっている資料や物が、高額資料に変わるかもしれません。

日本の場合、著作権などの問題でなかなか公開されない資料も、海外では公開されているケースが多いです。

IBMなどは、コンピュータのパーツリストや整備マニュアルなども公開していました。故障した際には、小さな部品ひとつでも購入することができました。

欧米では、商品の使用期間に対する感覚が、モデルチェンジや商品寿命は日本より長いので、40~50年前のマニュアルなどが公開されています。

ホールでの葬儀が増えて、拘束時間が長くなったので、ホールでインターネットで時間があれば資料を探してい



ました。

また、円高で海外のデットストック商品が、インターネットで購入することが安く購入できたので、高額のパーツなども購入することができました。

最近、円安でパーツも高価になり資料も揃ってきたので、これからはオーバーホールに時間を費やしたいと思っています。

10年前でしたら、ワンセット持ち込んで実際の音を聴いて貰ったりしていましたが、今は体力も気力もありませんので、ipadでの画像で省略させていただきました。

ネット上には、たくさんの情報があふれています。もちろん間違った情報もたくさんあります。

行動する前に予備知識を得たり、行動の後の確認したりするのに使ってみれば、今までと違った観点から物事を受け止めることができるようになると思います。

第2306回例会 4月14日(火)

- ◆点 鐘 牧野 健吉 会長
- ◆司 会 佐々木祐司 幹事
- ◆ロータリーソング 「我等の生業」

🍷 ハッピーバースデー 🍷



4月23日
牧野君

- ・4月17日 吉田夫人
- ・4月20日 窪田夫君
- ・4月27日 柴垣夫人

◆会長挨拶

皆さんこんにちは。

今月9日、天皇・皇后両陛下がパラオのペリリュー島の日米両方の慰霊碑に花を捧げられ拝礼され、戦後70年の節目に、犠牲となった全ての戦没者を追悼し平和を祈られました。

両陛下も、終活をなさっておられるのかなとも思いました。

また、私がもう一度行きたいと思っている鹿児島県南九州市の知覧特攻平和会館の初代館長の板津忠正氏も4月6日に90歳で亡くなりました。板津氏は戦後は特攻隊員の遺影や遺品（家族への手紙・辞世の句や遺書など）集めて回り、1036柱すべての遺影を出撃戦死した月日順に掲示され、零戦も展示されています。知覧からは沖縄への出撃が主だったそうです。

私は以前亡くなられた原菊男氏から『私と故西村君と裏千家大宗匠千玄室とは特攻隊の戦友で、友に徳島県の池田町にいた』と聞いておりました。その千玄室氏を招いて、魚津RCの60周年記念講演会が6月7日(日)に行われることを感慨深く感じます。どうか皆様の出席をお願い致します。

◆出席報告 (加納副委員長)

- ・出席率 会員31名中(出席免除者2名) 24名 82.75%
- ・欠席者 芦崎さん、原君、慶野君、鈴木君、横谷君の諸君
- ・前々回 (2304回) の修正
メイク・アップ なし

◆幹事報告

☆4月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
4/21(火)	夜間例会	喜 楽
4/28(火)	卓話担当：宮田さん	信金5階

★4月のSAA補助

畠山君・南君の諸君です。よろしくをお願いします。

◆ニコニコボックス

今週までの合計額 516,000円

◆卓 話 「歯科医師過剰の問題について」



関 康 弘 君

みなさんの身近にあるむし歯を治してくれる歯医者さん、実は歯医者さんの数が増えすぎなのではないかという声も聞かれます。

2月末にニュース「every」という番組のなか「会議のミカタ」の場面で、「コンビニより多い歯科医の過剰にどう対処？」と報道された内容について卓話をいたします。

番組ではその現状と注目される取り組みを取材しています。

まずは、富山県富山市にある洋風の建物…ジャーン♪チャーララー・ラーリラー・ラーリラー・ラー♪「あすなる王国へようこそ～」らせん階段を上っていくと…「こんにちは～」とコンシェルジュが迎えるそこは、テーマパークのアトラクションのような内装ですが、実は18歳までの子供が通う小児歯科専門の歯科医院なんです。子供達もワクワク、通うのが楽しい歯科医院「あすなる小児歯科医院」です。こちらでの主な診療は、保険でカバーされない予防歯科（＝むし歯の治療ではなく、むし歯にならないための診療）です。自費にもかかわらず、1日170人以上の子供達が通ってきます。院内では、王子様お姫様のドレスに着替えてファッションショーを楽しんで記念撮影をしたり、マジックショーが開かれるなど子供達を楽しませる仕掛けがたくさんあるのです。

記者：「ドレスを着てどんな気持ちになる？」

通院する女兒A：「うれしい気持ち」

記者：「歯医者さんは何をするとところ？」

女兒B：「むし歯がないかみてもらうところ」

佐野正之院長：「治療という概念だけで考えていくと、もうある程度限界が来ている。予防歯科で口の中を管理すると考えればまだまだ需要は広がっていく。」

ただ、このように多くの患者を集めている歯科医院は限られています。全国の歯科医院の数はコンビニエンスストアよりも多い、およそ7万軒。

こうした中、歯科医師が多すぎる問題を話し合う会合（厚生労働省：歯科医師の需要問題に関するワーキンググループ）が2月24日に初めて開かれました。

この中では、歯科医が増えすぎると患者の取り合いが激しくなり、経営が厳しくなる現状について話し合われました。今後、年末までにこの問題について対策をまとめる方針です。

コンビニよりも多い歯科医院が乱立する問題とその実態はどうなのか？

つぎに、都内（東京都目黒区）の歯科医院（目黒不動前デンタルクリニック）をたずねてみると…

記者：「診療台は一台いくら？」

北川志朗院長：「色々種類があって幅はありますが、300万円前後ですかね。」

開業4年目の歯科医院、たびたびまとまった設備投資が必要になるほか、月々の家賃の支払もあり、経営は決して楽ではないといえます。

北川志朗院長：「実際に周りに歯科医院も多いですし、決して楽ではないと思うんですけど。生き残っていくためにというか経営をちゃんとやっていくには色々手をうたないと。」

この医院では、今後新たに100万円以上を投資し、最新の医療機器を導入、質の高い治療を提供することで、患者を増やしたいということです。

一方、横浜市内の歯科医院（井澤歯科医院）では…

記者：これから訪問診療に行くということで同行してみます。

病気などで自ら診療所に通うことが難しい患者のために歯科医師が自宅を訪ねる訪問歯科診療を行っています。この日訪ねたのは身体の不自由な60代の女性のお宅。持ち運びできる設備を使い、診療所内とほぼ変わらない治療を提供することができるといいます。レントゲン写真の撮影も。利用者は？

利用者の夫：「だいぶ助かったよだね。」

本人：「うん」

利用者の夫：「歯医者さんに行くのと比べたらね。」

本人：「うん」

清水政紀院長：「待っている診療から、言ってよいことか“攻めの診療”。患者さんが来ないと不安になっている先生がいるなら、訪問診療をひとつの足がかりにするのもありかなとは思いますが。」
診療所に通えない患者に行っていた訪問診療。今では評判が広がり、高齢者を中心に予約が増加しているとのこと。取材をして在宅でも本格的な治療を受けられることに驚きました。

【以下、テレビ解説者のコメント】

いろんな工夫があると思うのですが、その背景としてはまず、歯医者さんの現状というものがあります。まず、いま歯医者さんの数というのはおよそ10万人を超えているというかたちになっている。1960年代から比べてみますと、なんとおよそ3倍も増えているそうです。これが、国が予想していたよりも増えすぎたということで、国は抑制策を講じているのです。国の対策としては、

- 1) 大学の歯学部定員を削減するように要請したり、
- 2) 歯科医師の国家試験合格基準の引き上げ。言い換えれば合格率を下げること

しかしながらなお、毎年およそ2000人が歯科医師になっているのです。一方で日本の人口はどんどん減ってきて患者さんの数も減ってきている。そうすると、歯医者さんの経営も厳しくなるということです。実は、歯科医院の数ですが、毎年1500軒が廃院となっているのです。これは、およそ1日に4軒のペースです。この背景には経営難ということがあるわけですが、私たちにとって歯科医師過剰のデメリットとは、

- 1) コストをカットしたいということで、古い設備で質の悪い治療をつづけるところがでてきてしまうところ。
- 2) 何とか収入を増やそうということで、“過剰診療”要するに余計な診療までしてしまうという問題が出てきている。

こうした現状を乗り越えるにはどうしたらよいのでしょうか？

そこで本日の「会議のミカタ」のポイントになります。“歯医者さん+α（プラス アルファ）”というふうに書きました。要するに今までの歯医者さんのやり方は通用しないということで、VTRに出てきましたように、例えば“訪問診療”とか“予防歯科”といったような歯医者さんのこれまでの仕事に何かを付け加える、まさに“歯医者さん+α”ということが今後求められていくんじゃないかと思います。

